



## 平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東  
コード番号 6662 URL <http://www.ubiteq.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荒木 克彦  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 雅弘 (TEL)03(5487)5560  
四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

### 1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(百万円未満切捨て)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	545	△32.8	△35	—	△35	—	△39	—
27年6月期第1四半期	812	76.2	25	—	24	—	12	—

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 △39百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 8百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△2 75	— —
27年6月期第1四半期	0 84	— —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	3,824	3,238	82.2
27年6月期	3,739	3,315	86.3

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 3,142百万円 27年6月期 3,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0 00	—	3 00	3 00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年6月期の配当予想については未定であります。

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

平成28年6月期第2四半期および通期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難なため、開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 一社、除外 一社  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4の「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4の「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年6月期1Q	14,563,600株	27年6月期	14,563,600株
28年6月期1Q	172,400株	27年6月期	172,600株
28年6月期1Q	14,391,200株	27年6月期1Q	14,390,900株

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式 (28年6月期1Q : 172,400株、27年6月期 : 172,600株) を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当期の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しが見られるなど、総じて緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとする新興国経済の減速の影響等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。当社グループの関連市場においても、全般的に緩やかな回復傾向にありますが、依然として投資姿勢は慎重であり、本格的な回復にはまだ時間を要するものと思われま

す。このような状況の中で、当社グループではオリックスグループとの連携を強化するとともに、お客様との関係性強化に取り組んでまいりました。平成27年8月には、組織を再編し全社一丸となつての経営改革の実現にむけた取り組みを進めております。業績面では、主力製品である紙幣鑑別センサモジュールの販売が客先の在庫調整により大幅に減少したことに加え、テレマティクス車載機の販売単価が低下したこと等により売上、利益ともに減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は545百万円（前年同四半期比32.8%減少）、営業損失は35百万円（前年同四半期は営業利益25百万円）、経常損失は35百万円（前年同四半期は経常利益24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は39百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円）となりました。

## ②セグメント別の概況

## 電子機器事業

電子機器事業は、主力製品である紙幣鑑別センサモジュールの販売が客先の在庫調整により大幅に減少したことに加え、テレマティクス車載機において、販売数量は前年同四半期を上回って推移したものの、販売単価が低下したことにより利益率が低下しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は375百万円（前年同四半期比34.0%減少）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比64.9%減少）となりました。

## モバイル・ユビキタス事業

モバイル・ユビキタス事業は、子会社のユビテックソリューションズにおけるソフトウェア受託開発案件が減少したものの、自社製品・サービスである省エネソリューション「BE GREEN Next」の販売が増加したことにより利益率が改善しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は170百万円（前年同四半期比29.8%減少）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,824百万円となり、前連結会計年度末から85百万円増加しております。主な内容としましては、製品が196百万円、現金及び預金が78百万円増加し、受取手形及び売掛金が226百万円減少しております。

## (負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は586百万円となり、前連結会計年度末から163百万円増加しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が187百万円増加しております。

## (純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,238百万円となり、前連結会計年度末から77百万円減少しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円の計上と剰余金の配当43百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループといたしましては、需要に適時的確に応えられる生産体制の構築をはじめとして、販売体制の見直し、事業ポートフォリオの再構築など抜本的な経営改革が必要であると判断し、平成27年8月には組織を再編し全社一丸となつての経営改革の実現にむけた取り組みを進めております。

そのため、現時点におきましては業績予想を合理的に行うことは困難であることから、連結業績予想は未定といたしました。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、すみやかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,612,560	2,690,617
受取手形及び売掛金	772,707	545,805
有価証券	24,285	16,830
製品	78,893	275,549
仕掛品	11,837	41,012
原材料及び貯蔵品	99,473	110,046
繰延税金資産	1,210	3,789
その他	39,861	49,123
貸倒引当金	△496	△449
流動資産合計	3,640,334	3,732,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,040	57,040
減価償却累計額	△34,006	△34,884
建物及び構築物(純額)	23,034	22,156
工具、器具及び備品	214,780	214,780
減価償却累計額	△189,846	△192,790
工具、器具及び備品(純額)	24,934	21,989
リース資産	4,562	4,562
減価償却累計額	△4,257	△4,485
リース資産(純額)	304	76
有形固定資産合計	48,272	44,221
無形固定資産		
その他	15,221	14,062
無形固定資産合計	15,221	14,062
投資その他の資産		
投資有価証券	195	180
繰延税金資産	10,380	9,661
その他	24,841	24,526
投資その他の資産合計	35,417	34,369
固定資産合計	98,911	92,654
資産合計	3,739,246	3,824,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	233,396	420,662
リース債務	319	79
未払金	30,078	30,849
未払法人税等	8,108	7,715
繰延税金負債	4,122	3,892
賞与引当金	2,110	7,905
役員賞与引当金	3,000	—
その他	75,479	47,233
流動負債合計	356,614	518,338
固定負債		
株式給付引当金	21,784	23,500
退職給付に係る負債	44,868	44,748
その他	110	27
固定負債合計	66,763	68,276
負債合計	423,377	586,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	891,132	891,132
資本剰余金	605,034	605,034
利益剰余金	1,796,218	1,712,931
自己株式	△60,685	△60,614
株主資本合計	3,231,701	3,148,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,355	△5,747
為替換算調整勘定	△512	△450
その他の包括利益累計額合計	△5,868	△6,197
新株予約権	64,534	70,232
非支配株主持分	25,500	25,846
純資産合計	3,315,868	3,238,365
負債純資産合計	3,739,246	3,824,980



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	812,140	545,950
売上原価	671,163	472,170
売上総利益	140,977	73,780
販売費及び一般管理費	115,763	108,813
営業利益又は営業損失(△)	25,214	△35,033
営業外収益		
受取利息	452	437
為替差益	—	115
その他	514	145
営業外収益合計	967	698
営業外費用		
支払利息	398	—
為替差損	41	—
投資事業組合運用損	1,603	693
その他	77	39
営業外費用合計	2,120	733
経常利益又は経常損失(△)	24,060	△35,068
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	24,060	△35,068
法人税、住民税及び事業税	7,992	6,273
法人税等調整額	3,342	△2,088
法人税等合計	11,335	4,184
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,725	△39,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	669	343
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,056	△39,596

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,725	△39,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,108	△393
為替換算調整勘定	△207	65
その他の包括利益合計	△4,315	△327
四半期包括利益	8,409	△39,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,752	△39,926
非支配株主に係る四半期包括利益	657	345

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (千円)
	電子機器事業 (千円)	モバイル・ ユビキタス事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	568,674	243,466	812,140	—	812,140
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	568,674	243,466	812,140	—	812,140
セグメント利益又は損失 (△)	96,527	△2,096	94,430	△69,216	25,214

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△69,216千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,216千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (千円)
	電子機器事業 (千円)	モバイル・ ユビキタス事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	375,131	170,819	545,950	—	545,950
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	375,131	170,819	545,950	—	545,950
セグメント利益	33,851	6,257	40,109	△75,142	△35,033

(注)1. セグメント利益の調整額△75,142千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△75,142千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。